



野球資料の展示をPRする大館市スポーツ協会の青柳会長（タクミアリーナ）

# 球 貴重な資料「多くの市民に」

## 大館市の吉田さんが収集

### タクミアリーナで展示

大館市のタクミアリーナに昨年12月から、地域の野球に関係する書籍や記録集などの貴重な資料が展示されている。同市大町で時計店を営んでいた吉田一雄さん(89)が長年にわたり収集したもので、資料を管理する同市スポーツ協会は「多くの市民に見ていただければ」と期待する。

吉田さんは中学校の野球部員などを約50年にわたり収集を指導したり、大会では審判を務めたりするなど、地域

の野球に深く関わりながら、月

に同協会に寄贈した。早起き野球、中学、高校の試合記録、プロ、アマチュア問

や野球評論などの書籍は合わせて1500点を超え、このうち北鹿新聞の連載「大館野球史」「大館高校野球史」のスクラップ約900回分は、展示とともに電子ファイル化も進めているという。

展示場所は1階エントランスホール左奥にある育児室前の休憩スペース。高さ90センチ×横幅150センチ×奥行45センチの専用ショーケースのほか、上部の壁面にはスクラップのコピーなどを掲示している。

一度に展示できる数が限られるため、定期的にケースを入れ替える予定で、2日現在の展示は、本県出身プロ野球選手のサインボールや長嶋茂雄さんに関する限定書籍など。

同協会の公式ホームページに資料の一覧を公開しており、閲覧にも対応する。

青柳正隆会長は「吉田さんが半世紀にわたって集めた貴重な資料。大切に保管していきたい。多くの市民の皆さんにぜひ見ていただきたい」と話した。

吉田さんは昨年末に時計店を閉店。収集物が置かれていた店舗などの整理がまだ続いているため、資料は今後も増える見込み。